

クロソイ

Sebastes schlegelii

地方名
 そい、ながら、くろから
 (深浦)、くろすい、すが
 ら(八戸)、ねぞい(陸奥
 湾)



生態

- ①寿命：10歳以上。
- ②成熟：3歳以上。
- ③産卵期、産卵場：12月～1月に交尾し6月～7月に浅所で産仔。卵胎生。
- ④分布：日本各地に分布するが北日本に多く、朝鮮半島、中国にも分布。
- ⑤生態：1～2歳魚は沿岸の藻場、岩礁域に生息し、成長に伴って沖合の天然礁、人工礁に移動。水温の高い夏～秋は深所に移動し、水温が低くなると浅所にも生息。

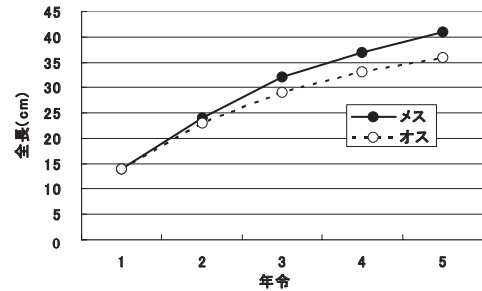


図 青森県におけるクロソイの成長

主な漁業

定置網、簀、一本釣等で春季及び秋季に多くが漁獲される。1歳から漁獲される。

漁獲と資源の動向

県統計では「そい類」としてキツネメバル(マズイ)等と一括で集計されており、クロソイに関する長期間の漁獲データはない。そい類の漁獲量は昭和51年の250トン(最高)を減少傾向にあった。平成に入り160～170トン前後で増減を繰り返していたが、平成20年から増加し、平成23年は227トンであった。

青森県産業技術センター水産総合研究所が調べた平成13年以降の県内主要漁協のクロソイとキツネメバルの漁獲量は平成21年以降クロソイの割合が低く、クロソイは平成14年から横ばいであった。

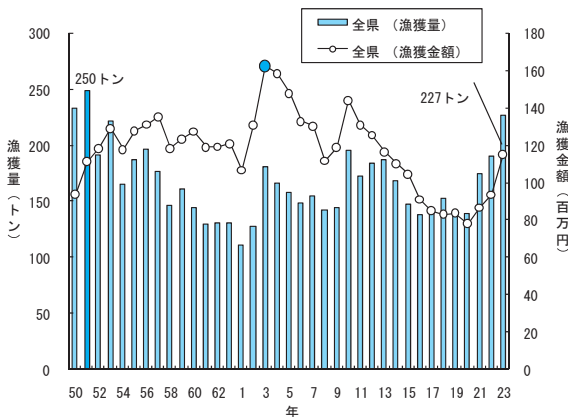


図 青森県におけるそい類の漁獲量及び漁獲金額の推移

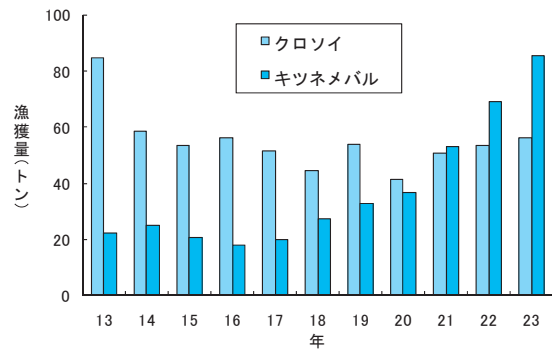


図 主要漁協のクロソイ、キツネメバルの漁獲量 (水産総合研究所調べ)

資源を上手に利用するために

- 資源管理計画(風合瀬漁協 平成7年3月)
 - ・15cm未満個体の再放流、荷受け制限を定めた。
- ☆上記のような小型魚の漁獲を自粛する取り組みを継続することが必要。

